



季寄

俳諧手勝子

洛菊舎藏

四季乃初色
表八白并百款法
首尾并事
句教去きいける
意乃作や
長傷の詞
お色詞并短述詞

付句
奇仙乃事
十句并法
同字のいなる事
神祇のいこと
今海詞并短述詞
歌分の詞

述懐句并
四十四乃事
句白切な
花句教去娘の事
終るは事
長沙并短述詞

意乃句并事
源氏の事
お色乃法
意乃詞
述懐の詞
山歌并短述詞

俳諧手勝子序

けいこうのまきてしむけ宗匠の家
諸説ありしむけし一家乃見え
あつた書評多しれ世にけりる今此書は
曩日信徳の集五つをいあつてふ接合浦
正しく肝要なる事なれは書下にて
もあまりふたせしむるし第一
あつたり志乃書にきにてせしむる



万々人々く下儀に納りいそは席す
 終ていそあそくし側れひらしむりひ
 あつるあそくはまよこしけり子孫子に引直
 ち便そくあそくは紅きに野そ世ふひら
 うらうらそく

乙化七夜平けしきま

乙卯

春

青陽 左皞 陽春 立春
 青帝 東君 蒼天 孟春

正月 陰月 初月
初月 太陰月 初月

二月 陽月 仲月
今月 陽中

三月 中月 花月
春月 花月 孟春

元日。立春。初節。
 初鳥。初空。明のま
けのま。花のま。ちのま
 ひのま。風のま。四方のま
 初日 三乃初

二日。春。陽月。初雷
 初節。初平。春初
廣部。吉野

上巳。巳日。曲水。
 初の節。白。初の節。
誰合。雜交。村の
 鞆の戯。ぶく

正

七日。白馬節令。初春
小松身。卯杖。うら。人日
うら。れ。若菜。七草
た。ら。な。り。毒。を。と。る。店
は。な。す。ま。す。し。う。
九日。十日。む。び。に。食
西。又。十日。む。び。に。食
幸。徳。寺。社。夏。時。縁。石
は。吉。清。寺。土。言。粥。占。土
清。新。日。清。奇。う。ら。う

二

瓜。つ。の。つ。の。つ。の。つ。の。
雀。子。つ。の。つ。の。つ。の。
引。鴨。引。花。
鳥。乃。巢。う。ら。う。
新。鷲。山。山。山。山。
鳥。乃。特。う。ら。う。
白。尾。乃。鳥。つ。の。つ。の。

三

梅。今。法。う。ら。う。
白。う。ら。う。蓮。う。ら。う。
母。子。草。う。ら。う。
う。ら。う。う。ら。う。う。ら。う。
鬼。薊。う。ら。う。
丁。子。草。金。仙。花
五。井。花。う。ら。う。

女。う。ら。う。
杖。松。乃。月。う。ら。う。
徳。中。九。草。長。う。ら。う。
菟。入。九。神。系。十九日。昔
正月。正月。正月。十九日。昔
舞。浄。法。棚。抄。り
快。用。快。去。今。う。ら。う。
凍。解。う。ら。う。氷。う。ら。う。

蛙。蛙。蛙。蛙。
田。子。う。ら。う。
角。乃。乃。乃。乃。
子。乃。子。乃。子。乃。
鱈。乃。鱈。乃。鱈。乃。

う。ら。う。う。ら。う。う。ら。う。
三。葉。草。仙。乃。萩。
う。ら。う。う。ら。う。う。ら。う。
花。二月。草。三月。草。
郭。乃。草。う。ら。う。
鷲。乃。草。鳥。乃。草。
味。子。う。ら。う。雲。乃。入。う。

沙雪

雪がけ 雪うたれ

よら乃雪

雪 強葉

つひ

雪

下萌。くづら

ひらひら。落のしる

若草

若草のしる。若草

牡丹根。木牡丹

梅

牡丹。やう梅。ち梅
小梅。花の兒

出代

まき。まき。まき

葉。小あや。のかりあや

あや。あや。あや

梅。梅。梅

貝。貝。貝

乃。乃。乃

衣。山。山

ま。ま。ま

松乃花

知子

白臭。二七

柳衣。梅花衣

○此下くろ三月

水月

梅枝

管。おほ

長宗。つら。つら

依。依。依

玉。玉。玉

百。百。百

月。月。月

月。月。月

十六日 さがらふ 中ま。
 三井ろ
 日光 十八日 栲天。
 卯花 十九日 秋
 のやき 大久敷
 牡丹。芍薬。燕
 子花。けいの花。人
 人子。葵。かきあうひ
 うさぎ草

競馬 とも足す
 藤森 五日 宇治
 八日 宇治 十日 今交
 泉 十九日 水師の日
 廿五日 任吉河田植 廿八日
 大京さし 日富士
 垢離 行跡 日竹
 十三日 高荒川 とも

江戸山王 泉 廿九日
 乃原 日竹切 廿日
 府下 廿日 天渡
 廿五日 清子 洗清
 廿日 任吉河田 雨
 乞。反神 糸。反
 拔名 越枝 河枝 川
 ちり 乃 日。形代。川
 あつさ。夕 とも

とらふ

一八。夏秋 麦うり
 系 挽草。草薺
 乃む。岩屋。踊草
 卯花 とうきけむ。
 乃 楓。わり 葉。こころ
 本草 茂る。新 樹。
 本下 胃。魚 橋。柑

うらふ

早乙女。早 菫。
 田子 菫。和布と
 川。藤 花。まかり
 乃む。うさぎ
 一の花。川 骨。花
 あやめ。おのむ。淡
 線花。忘 草の花
 さん 草 花。紫 陽 花

清み

清み 柳 葉
 ちり 抱 枝 竹 婦 人
 風 とうろ。納 原 寺
 甲の 吟。ま ち 乃
 青 乃 じ 古 用 丁 中 丁
 賜 井 井 乃 々。嘉 定
 嘉 定 乃 柳 香。お
 需 乃 乃。雀 丸。乃

子乃花 抽乃花。ふいの花。
 てやりれた花。白丁
 花。厚朴の花。榎
 桐乃む。換けたま
 さく 餘花。柳の花
 ときいあれゆらま
 凡車。まぶぬ。山

ふら乃花。うらり草
 をりぎ。ろくでしこ
 南天乃花。さくら
 のむ。栲の花 せん
 くらをうれた花。さつき
 けいじ。柳乃む
 わ乃む。棠乃む

やせ。まぶし あまほ
 る川のつと。蓮
 乃む あまほ。うきと。
 以深の花。蒲花
 穂。蒲とが
 眼皮。凌霄。ぎば
 うし。きん草
 つら乃草。射干。

昔乃花。紫葉。
 うつ不草。千日お。
 天乃草。さくれあ
 根。石解。鴨足
 草。寶澤草。菌
 乃む。むまくとん
 ぶさく草 しもつけ
 つらと つらと 草

柳乃む。ふら。思
 冬の花 金娘花 紫
 寛 ひや 乃む。早松草。
 花 あまほ 初乃む。油瓜
 きうり瓜の花 瓜
 生くろく。青梅。
 杏子。枇杷。棠の
 乃む。揚梅。すり

夕乃 ひまわり
 瓜。凡葉。射干草。
 日車乃花。鈴草。
 まるくし。漆のむ
 ずくく。紫葉。
 青鬼灯。真素
 瓜 ひまわり 小角豆
 瓜 あまほ 藍乃。

初氷。冬竹 冬竹
 切。落葉 落葉
 枯柳。草 草
 菊 菊
 松 松
 枯尾花。枯草。水
 仙。 水仙

望月 望月
 寒。顔見世。冬至
 梅。大山梅。新生
 寒。寒鳥。社主
 絲。餅。教 教
 洞 洞

十九日 十九日 大徳寺
 廿一日 廿一日
 廿三日 廿三日 師走。年
 年忘。年入 年入

らん花。ひり花
 かし かし
 つら花。冬牡丹
 ハ ハ
 乃 乃
 大根 大根
 切 切
 氷 氷

門松 門松
 年 年
 長 長
 古 古
 年 年
 大 大
 年 年
 大 大
 年 年

船^は推^おし^て川^を下^りて^は流^るる^舟ん
老^おい^は家^を出^ての^こぞ^うか^る舟^ん
人^のま^ご推^おし^てぬ^る舟^を出^して

是^は亦^も百^は皆^は連^れ様^の本^をさ^しび^り又^も連^れ様^の本^をさ^しの^句ハ
そ^のび^りさ^る人^もな^らば^世に^は推^おし^てぬ^る舟^を
乃^はれ^ぬる^人も^あら^ずに^はれ^ぬる^舟を
余^よ亦^もお^いは^すも^も老^おい^はぞ^うか^る舟^ん
者^はく^れし^味さ^るべ^し又^も恋^の本^をさ^しぬ^る舟^をさ^しの^句ハ

か^のあ^らび^とさ^はる^舟を^のら^びに^さて
我^をも^や人^乃さ^らひ^らが^らん
お^いは^すも^も老^おい^はぞ^うか^る舟^ん

是^はお^の句^を皆^は恋^の本^をさ^しび^り又^も連^れ様^の本^をさ^しの^句ハ
と^のあ^らび^らび^の舟^をさ^しぬ^る舟^をさ^しの^句ハ
い^の種^をお^いは^すも^も老^おい^はぞ^うか^る舟^ん
本^をさ^しの^句ハ

○ 西^の八^の句^并百^の韻^の法

○ 源氏此法

奇仙の初折の波へ面十二句 上句首の定法 辛辰十二句 八月月土句め
は二折は四句をよみて折と折句教六十句なり 花の定法

○ 首尾の法

奇仙の初二句名所の辛辰六句と十二句之法は奇仙と甲子細子
○ 十句ハ後句教十句也は季分なり

まの句二 夏の句二 秋の句二 冬の句二 竹十句之又十句

やうう花一月中一と添あせんとまると何と是も方一

かみきし十句の時かひい者掘沖之しよ添あるなりと傳ふま
とてとらへはてもうし一のしぬと何れなり

くまの 若頭の教句ハなる程なるなりと後句まらるるの也とせし

しる後句ハかみきししれせゆとてしんかなり

題 いんくろ 初去 うまこ 産 うま 春 うま 梅 うま 万もの終一ゆあせんと俗

うらうら歌ととりくくんとし一はあつたにせぬなり

○ 後句ハ切字の事

な たり たり あり たり ー ー ー

公のくし 漢和とすしと 和漢和とす 和漢とす 漢和和
字以用べし 漢和とすしと 漢和和も 和も 和も

○句教の事 弄弄 妙い

春秋 二句より三句までつくべし 五と五と秋と秋と又句去

夏冬 二句より三句までつくべし 平句の句もすし 世とるる

神紙又書 二句より三句までつくべし 何れも三句去 世とるる

哀傷を志す 二句より三句までつくべし 何れも三句去

急の句 二句より三句までつくべし 三句去

人偏 二句より三句までつくべし 二句去

居下 二句より三句までつくべし 三句去

夜之 二句より三句までつくべし 何れも三句去

衣類 二句より三句までつくべし 三句去

天象 二句より三句までつくべし 二句去

旅 二句より三句までつくべし 三句去

植物 二句より三句までつくべし 三句去

おとる年といふ句去る句去る句去る

新。律。激。念。舊。真。里。古。
 木の真。花の真。香の真。戒。次。徳。
 初。このあそびのさき。堂。後。新。古。
 狀。護。經。堂。佛。加。藤。新。藤。
 法。堂。塔。又。三。峯。洞。九。輪。雲。門。此。
 屋。石。廻。廊。方。丈。厨。客。殿。坊。六。里。
 官。奥。の。坊。出。家。沙。比。丘。比。丘。尼。法。師。沙。弥。
 坊。之。僧。老。弱。貧。平。美。奇。

度。虚。寺。内。古。刹。古。刹。塔。下。
 國。師。律。師。僧。源。長。老。聖。人。上人。和。尚。
 此。堂。東。堂。前。庭。苑。之。典。記。佛。堂。何。者。東。
 傍。西。傍。法。衣。法。服。法。橋。持。接。碩。学。以。外。之。僧。友。
 宗。者。く。お。お。ま。り。皆。大。友。く。経。緯。の。名。文字。皆。又。教。之。
 ○ 迷。懷。乃。詞。
 昔。お。お。の。の。親。子。之。小。黑。藤。口。社。世。分。の。糸。
 實。公。寺。住。人。屋。敷。之。こ。の。ま。の。建。奇。群。二。り。又。も。

貧乏。乞食。拙人。穿人。被刺。乃。此。は。か。つ。く。を。心
こ。て。迷。懐。よ。り。お。く。ー

○ 哀傷の詞

化。成。之。を。考。の。乃。あり。也。く。ぬ。た。古。枕。ふ。り。に。ま。れ
ち。か。ら。ま。ま。を。考。の。乃。あり。是。何。ま。ま。ま。ま。の。辭。り。利
死。の。ま。ま。人。か。ま。ま。後。ま。り。自。害。若。れ。く。り。時
衣。傷。之。心。ま。ま。習。ひ。ま。り。衣。衣。傷。由。度。乃。白。ま。り
ま。ま。く。お。か。法。付。て。か。れ。ま。り。ー

○ 人傷の詞

醫。師。湯。物。師。こ。の。に。昨。字。付。た。ま。り。人。傷。之。六。天。伯。系
の。の。あ。り。番。匠。む。ら。り。打。た。ん。と。い。ま。の。か。ひ。年
高。ぬ。ま。り。盗。賊。長。室。凶。賊。海。賊。これ。ま。ま。ん。べ
某。列。を。考。の。乃。あり。人。傷。の。乃。あり。舟。子。縦。活。や。り。と
と。れ。か。ん。傷。の。乃。あり。後。考。の。乃。あり。ま。ま。の。乃。あり。ま。ま
神。匠。修。人。ご。せ。ほ。か。の。事。ま。ま。ま。り。い。ひ。但。人
の。形。の。内。ま。ま。の。乃。あり。ま。ま。の。乃。あり。ま。ま。の。乃。あり。ま。ま

留^と。月^の留^し。月^は乃^友。乃^る。凡^{。凡}。凡^{。凡}。
 釋^多。氏^{。氏}。實^多。取^取。絶^{。絶}。吾^聖の國^{。國}。傳^{。傳}。奏^者。
 即^未。子^子。子^子。老^老。太^太。太^太。
 武^主。引^引。算^算。算^算。下^下。下^下。下^下。下^下。
 使^去。能^能。能^能。能^能。職^人。職^人。職^人。職^人。
 生^{。生}。農^{。農}。農^{。農}。農^{。農}。職^人。職^人。職^人。職^人。
 人^人。傳^傳。傳^傳。傳^傳。傳^傳。傳^傳。傳^傳。傳^傳。

凡人偏分

六親。人^形。人^形。人^形。人^形。代友。大工。
 月^は友^{。友}。友^{。友}。友^{。友}。友^{。友}。酒^酒。酒^酒。酒^酒。酒^酒。
 一。百^姓。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。
 一。百^姓。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。
 一。百^姓。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。
 一。百^姓。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。目^代。

居所の分

家。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。
 家。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。門^{。門}。

城。筑地。櫓。形。庭。書院。庭。廊下。榎干。湯。風。軒。宿。窓。隣。庭。坪。の。ち。露。外。面。崖。帳。た。り。

山類の分

山。岑。嶽。峯。洞。沮。高。根。坂。谷。崎。岫。尾。山。嶽。炭。角。松。木。穴。あ。か。ら。白。井。松。島。小。崎。山。峯。山。峯。つ。ら。折。あ。の。岩。久。米。海。の。ち。富士。法。石。海。川。

北山類分

崎。海。海。一。一。國。川。一。ら。の。川。一。山。一。ふ。ど。一。一。一。山。科。の。岑。高。砂。松。吉。野。の。奥。小。崎。か。く。山。炭。燒。石。人。猿。凡。木。岩。橋。三。々。崎。ひ。む。ろ。

水名

海。浦。湊。崎。江。崎。激。泉。濱。法。沖。津。川。

淡。堤。岸。池。澗。江。舟。古井。新井。瀬。瀬。
淡。波。淡。關。伽。こり。ひ。ひ。新。新。新。新。
浮。桶。塩。屋。流。桂。魚。網。釣。瓶。下。極。釣。た。り。
海。士。指。臺。萍。藻。の。歌。眞。和。布。の。歌。信。吉。の。神。
形。石。頂。三。之。崎。小。崎。玄。崎。橋。姫。田。井。志。賀。の。松。
津。務。は。ら。月。の。都。り。新。波。津。之。り。崎。新。崎。

此の事多

天乃く紀橋。夢の浮橋。横川。三岐川。あまの川。苗

代。四。れ。ら。け。ひ。難。波。も。志。賀。飯。石。大。井。形。石。れ
雲。浪。の。三。池。松。浦。姫。は。り。川。う。東。白。川。の。雲。野。
朝。の。玉。も。月。の。も。硯。の。も。手。も。布。き。る。尺。室。打。八。崎。
重。長。の。海。河。の。海。志。賀。の。海。信。吉。の。海。小。田。れ。ら。け。ら。り。
さ。の。後。り

夜分此詞

られた。く。れ。ら。て。し。け。ら。れ。明。か。の。明。る。り。川。は。
も。や。を。明。か。る。者。あ。け。て。別。の。者。も。り。此。此。ら。り。

とまゝ火。いざり火。かやり火。あゝら火。らゝら火。床。
 後や。ふまゝ。衾。枕。まぬく。下紐。くま。蚊帳。
 袴。まゝはじ。ふまゝ。いびき。むしり。うゝし。襦。
 又。このお。まゝむしり。まけむしり。まゝむしり。七夕。
 かゝら。ふくら。まゝ。いびき。いびき。日まら。かぐら。
 かゝら。袴。袴。袴

蕉 俳諧道 復

小本全二冊

芭蕉翁の翁句とあけて蕉の俳諧を海内各名師の
 連句の芳名より古今の俳諧をいかにまことまこと
 切字乃修む世に傳ふるなりをあらわす

芭蕉翁發句諸抄大成

全五冊

くまの翁の一代の翁句をいかにまことまこと
 乃の発句といかにまことまこと

文化七庚午三月

京三條通寺町西

俳諧書林

菊 告 太 兵 衛 梓

